公明党 さいたま市議会議員

令和７年夏号
第 27 号

関ひろみ通信

発行責任者：さいたま市議会議員 関ひろみ　［公明党市議団控室］さいたま市浦和区常盤６－４－４

さいたま市議会　令和７年６月定例会報告

令和 7 年度さいたま市議会 6 月定例会が 6 月 11 日から 7 月 4 日までの 24 日間の会期で開催しました。新年度最初の議会では議長・副議長の辞任に伴う改選の他、常任委員会・特別委員会の選任も行われました。

常任委員会では子ども文教委員会で初代委員長に任命されました。また、特別委員会では議会改革推進特別委員会に所属となりました。市長提出議案 38 件、議員提出議案 3 件、委員会提出議案 1 件、合計 42 件の議案を審議しました。

令和７年の所属委員会は下記の通りになりました

常任委員会

・子ども文教委員会
（旧：文教委員会で、今期から教育委員会と子ども未来局が合併しました。）
初代委員長になりました。

特別委員会

・議会改革推進特別委員

皆様の声が「カタチ」になりました!!

今羽町の用水路において、昨年夏、大雨で氾濫しすぐさま現地へ。その後、大雨のたびに現地を視察しました。

北区役所へ相談し、市の所管と現地を視察。まずは雑草の除去と、用水路のひび割れを補強しました。近隣の方々の不安解消のため引き続き、氾濫対策を行ってまいります！

清水市長に「物価高騰対策に向けた提言」を提出

6月定例会初日、公明党市議団として清水勇人市長に「物価高対策に向けた提言」を提出しました。

長引く物価高は、暮らしや地域の商売に大きな負担をかけています。

最も市民に身近なさいたま市においても、市民の暮らしを支える取り組みが必要だと考えています。

そこで今回は、デジタル地域通貨を活用した家計の負担軽減策や、子育て世帯への支援など、具体的なアイデアを市に提案・実現しました。

戦後80年、戦争や核兵器のない恒久平和の実現を求め さいたま市議会「意見書」を全会一致で可決!

2025年は、第二次世界大戦の終結から80年という大きな節目の年です。戦争で唯一の被爆国である日本は、戦争の悲惨さを繰り返さないという誓いのもと、平和国家としての道を歩み、国際社会において信頼と尊敬を築いてきました。

しかし、今日の国際情勢は依然として不安定であり、世界各地で紛争やテロ、民族対立が続発し、日本の安全保障環境も厳しさを増しています。こうした状況だからこそ、私たちは戦争の教訓を忘れず、平和の尊さを語り継ぎ、その誓いを次の世代へと受け継いでいくことが重要です。

2021年に発効した「核兵器禁止条約(TPNW)」は、核兵器の開発・保有・使用を全面的に禁止する初の国際条約。日本は被爆国として、その趣旨に強く共感し、積極的に関わるべき立場にあります。広島と長崎の経験を国際社会と共有し、二度と核兵器が使われないよう訴え続けることは、日本の歴史的責務です。

このような背景を踏まえ、国に対しては、終戦80年という節目を機に戦争の教訓を国民とともに再確認し、国際協調を基盤とした平和国家としての立場を堅持しながら、戦争や核兵器のない世界の実現に向けて、主導的な役割を果たすよう強く求める意見書を全会一致で可決しました。

議員提出議案に際して公明党市議団は、草案の作成から各会派との合意形成に至るまで、一貫して議論をリードしてまいりました。

「さいたま市みんなのアプリ」を活用したポイント還元・アンケートキャンペーンが始まります!

物価高による市民生活への影響を踏まえ、「さいたま市みんなのアプリ」のデジタル地域通貨を活用して、8月29日から、さいたま市内在住の方を対象にした、決済額の15%分の「たまポン」を還元する「家計に"ほっ♪"日々のくらし応援キャンペーン」と8月25日から65歳以上の方を対象としたアンケートに回答した方にたまポン2,000ポイントを付与する「くらしの"声"を聞かせてキャンペーン」を実施します。

「家計に"ほっ♪"日々のくらし応援キャンペーン」

「くらしの"声"を聞かせてキャンペーン」

皆様のご意見・ご要望を関ひろみまでお気軽にお聞かせください。

ホームページ http://h-seki.net　☎ 048-829-1812　voice@h-seki.net